



うさぎぐみだより

2024年9月
尚徳福祉会
沼袋西保育園

まだまだ暑い日が続いていますが、時折吹く風のさわやかさに秋の訪れを感じる季節になりました。夏ならではの体験をし、おうちの方とゆっくり過ごす機会も多かった子どもたちは、心も体もひとまわり大きく成長したように感じます。園庭であそんだり、散歩に出かけたりと、秋を見つけに行きたいと思います。



～9月のねらい～

- ・保育者や友だちと一緒に、体を動かしてあそぶことを楽しむ。
- ・戸外あそびを通して、秋の自然にふれる。
- ・簡単な身の回りのことに取り組む。

～楽しいものがいっぱい！～

最近はりす組の部屋にお邪魔することもあります。階段を登って少人数ずつりす組の部屋に行くと、うさぎ組の部屋にはない玩具に目を輝かせる子どもたち！特に人気なのはブリオの電車とままごとです。うさぎ組に戻る時間になっても、”もどらない！”と拒むほどりす組の部屋が大好きです。



～おねがい～

- ・9月も汗をかいた日はシャワーをしていきますので引き続きタオルのご用意をお願いします。
- ・涼しくなってきますと、散歩靴を履いての戸外あそびも増えてきます。靴のサイズの確認もよろしくをお願いします。
- ・爪が長くなっていないか、衣服のサイズの確認もお願いします。



～今月の予定～

- 2日(月) 引き渡し訓練
- 5日(木) 身体計測



～いろいろ夏あそび～

7月、8月とうさぎ組では夏ならではのあそびを楽しみました。

園庭では、氷、泡、色水あそびをしました。見立てあそびが上手になってきたうさぎ組。色水をコップの中に入れて「りんごじゅーす」と言い喜び、飲む真似をしたり、友だちや保育者におすそわけしたりしていました！言葉もよく出るようになってきて、「いちごじゅーすのみたいな」「ぜりーどうぞ」と話のやりとりもしています。

室内では、寒天、片栗粉、絵の具でのスタンプ遊びをしました。寒天や片栗粉の慣れない感触に触るのを嫌がる子もいますが、気にはなるようで近くで観察し、それぞれの方法で感触遊びを楽しんでいます。寒天や片栗粉あそびでは、器やコップの中にスプーンですくっていれたり、手で触ったりしていた子どもたち。あそんだ後は自ら手を洗いに行き、きれいにしておしまいにしていましたよ！

